

地域活性化へ生徒提言

NIE 実践例報告し閉幕 全国大会

【福井県で金城綾乃】第17回NIE全国大会(日本新聞協会主催)は最終日の31日、福井市内の2会場で公開授業や実践発表が開かれた。小中高校や地域、家庭でのさまざまな新聞活用の実践例が紹介された。NIEによる市民教育の可能性も示され、参加した山内彰冲縄県NIE推進協議会会長

は「新しいNIE活動の始まりを実感した。NIEの目的である言語活動や社会性向上を確かなものにする手法が見られた」と話した。
(3日付教育面に詳報)
公開授業で、勝山市立勝山北部中学校3年の生徒らは、地元・勝山市を活性化させるための提言を作成。観光に関する記事や「買い

物難民」の記事を基に、新たなまちづくり計画を市の職員に提案した。生徒たちは「自分たちの取り組みで社会を変えられることを学んだ」と目を輝かせた。

実践報告「考える力・伝える力を高める」朝学習の取り組みと新聞作りを通しては、敦賀市立西浦中学校の田中幸喜教諭が朝の活動や総合的な学習での新聞活用を紹介。田中教諭は「新聞を通して多様な意見を知ること、視野が広がった」と実感を込めた。